

平成 29 年度 第 6 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 29 年 9 月 27 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 庁議室

## 第6回（定例）宍粟市教育委員会会議録

### 1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成29年9月27日（水） 午前9時30分～午前10時27分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 庁議室

### 2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	杉本健三	委員
	中山由香里	委員	前田純恵	委員
	金本一二	委員		

事務局

藤原卓郎	教育部長	前田正人	教育部次長
田路正幸	教育部次長	橋本 徹	教育総務課長
山本哲史	学校教育課長	中尾善弘	こども未来課長
西林文隆	施設整備課長	藤井康明	社会教育文化財課長
池本雅彦	学校給食センター所長	福元佳代	教育総務課副課長

### 3 開会

西岡教育長が開会した。

### 4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

### 5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

金本委員

### 6 前回会議録の承認

平成29年度第5回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、橋本教育総務課長が説明し、承認された。

### 7 教育長報告

次の4点について西岡教育長が報告した。

(1) 中学校体育祭、小学校・幼稚園運動会について

9月10日(日)には市内中学校体育祭、また、18日、23日には、市内各小学校・幼稚園の運動会が盛大に開催され、教育委員さんにはご出席いただき、ありがとうございました。

## (2) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

一宮南中学校区学校規模適正化については、9月12日に正副会長会を開催し、昨日、第10回協議会を開催し校章等について協議会決定いただき、校歌については、最終的に学校で候補2曲のうち1曲を選考し、決定することを承認いただいた。また、閉校記念式典の開催日は、染河内小学校が3月4日(日)、神戸小学校が3月11日(日)としている。

幼保一元化については、戸原地区は、姫路市の設計会社と施設の設計業務に取り組んでおり、次回の協議会開催に向けて調整中である。また、一宮北中学校区は、用地取得に向け地権者と引き続き交渉を行っている。

## (3) 教育委員会事務事業評価について

9月25日に教育委員会事務事業評価有識者会議を開催し、28年度実施事業について、執行状況の点検及び評価を実施していただいた。その結果、概ね満足できる「B+」が28事業、あまり満足できない「B-」が8事業の評価を受けた。

## (4) その他

平成29年度宍粟市国際理解交流活動であるスクイム市派遣事業の派遣団、団員10名、引率3名、計13名が、9月21日(木)に市役所で出発式を行い、9月29日(金)の夜に帰ってくる。ホームステイや学校訪問によって、交流を図り、国際理解を深めて帰ってくることを期待している。

## 8 協議報告事項

### (1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、学校規模適正化について橋本教育総務課長が、幼保一元化について中尾こども未来課長が報告した。

### (2) 宍粟市立幼稚園の現状について

資料2「市立幼稚園の現状」により、橋本教育総務課長が報告した。

### (3) 平成29年度スクイム市派遣・訪問団受入の日程について

資料3「平成29年度スクイム市派遣団行程表」、「平成29年度スクイム市からの訪日団受入スケジュール(案)」により、山本学校教育課長が報告した。

### (4) 平成29年度オーストラリア・アイアンサイド小学校との国際交流日程について

資料4「2017年度アイアンサイド小学校との国際交流日程」により、山本学校教育課長が報告した。

### (5) 数学・理科甲子園ジュニア2017の結果について

資料5「数学・理科甲子園ジュニア2017参加チーム一覧」により、山本学校教育課長が報告した。

(6) 宍粟市教育振興基本計画の策定状況等について

口頭により、山本学校教育課長が報告した。

(7) 宍粟市文化財審議委員会委員の委嘱について

資料6「宍粟市文化財審議委員会委員名簿」により、藤井社会教育文化財課長が報告した。

(8) 学校給食における異物混入対応状況及び対策について

資料7「学校給食センター異物混入状況及び対策（職員研修）について」により、池本学校給食センター所長が報告した。

(9) 宍粟市ロードレース大会参加者募集について

資料8「宍粟市ロードレース大会要項」により、橋本教育総務課長が報告した。

(10) 人権推進課の事務所移転について

資料9「広報宍粟9月号」により、橋本教育総務課長が報告した。

## 委員の主な意見及び事務局等の説明

(金本委員)

ちくさ杉の子こども園開設時には、基本的には私立で運営と打ち出されていた。一宮北地区、戸原地区の公立によるこども園開設について、千種地域からのクレーム等が教育委員会に届いていないか。教育委員会の基本的な考え方をもう一度確認したい。

(こども未来課長)

クレーム等は1件も届いていない。基本的な考え方は、教育長、市長の市議会一般質問の答弁でも、基本的な考え方は変わっていない。今後も公立、民間の運営ということではなく、その校区の全ての子どもの保育、幼児教育の環境整備、幼保一元化に取り組んでいくという答弁内容である。一宮北地区、戸原地区では、運営者募集をしても応募の運営者がなかったため、公立で運営となった。これから他校区でも、民間を主体として協議を進めていく考えに変わりはないことを報告する。

(金本委員)

ちくさ杉の子こども園検討委員会メンバーの一員であったが、委員会では最初に民間でできることは民間で、官でできることは官でという基本姿勢であると聞き、千種は民間でこども園を運営するとなった。そのあたりをきちんと理解できた上で、説明したり進めていかないといけないと感じた。

(金本委員)

教員の勤務時間が長すぎるのではないかと、最近、マスコミ等で言われているが、宍粟市では状況調査を行っているのか。

(学校教育課長)

6月市議会の一般質問で教育長答弁もあったが、文部科学省が実施した教員勤務実態調査の結果が4月に公表され、報道が行われているところである。どのように市で調査するか検討しており、学校現場にその調査で新たな負担が増えることがないようにしたいと思っている。調査の時期は、今年11月から12月

にかけて1ヶ月間程度の期間、調査をしてはどうかと思っている。

(西岡教育長)

勤務超過にならないように、中学校では週1回のノー部活動デーと、月2回以上の土日の休部を徹底して守っているところである。小学校でも週1回ノー残業デー、ノー会議デーを完全実施するよう取り組んでいる。これらの取り組みについて市民にご協力いただけるよう、また、地域の眼も大事ということで、広報宍粟にその取り組みを掲載予定である。

(学校教育課長)

広報宍粟 10月号に取り組みを掲載予定としている。市における教員勤務の状況は、全国的な傾向と変わらないと思う。

(金本委員)

いじめ被害の子に地域の大人がどう接するかという勉強会を開催した。講師には、心理カウンセラーとして生徒指導に実績ある明治大学文学部の教授を招き、いじめ予防対策の話をお聞きしたのでお伝えしたい。一つ目は、いじめが解消したようでも、加害児童と被害児童の関係性は見えないけれど、続いているということだった。大事なのは地域の大人は積極的に子どもに声を掛けふれあうなかで、子どもからいじめの話が出たら勇気を出して打ち明けたことを褒めてほしい。そして、いじめの現場に遭遇したら、まずは、その場からいじめ被害の子を引き離すようにしてほしいと話された。二つ目は、職員室の雰囲気为学校や子どもたちに大きな影響を与える。とりわけ教頭の関わりが雰囲気づくりに大きな影響があり重要である。管理職が監視職とならないよう教員や子どもの良い点を褒め、気持ちを高めるような教頭が在籍する学校は明るいと話された。いじめ対策の勉強会の講師等情報として提供させていただく。

(杉本委員)

9月に中学校の学校訪問に行き、職員室を伺うと、先生方の明るい和やかな雰囲気を感じた。その雰囲気のコ核となるのは校長と教頭である。職員室に校長の机を置いてはどうか。私も金本委員と同感である。管理職の研修の時に雰囲気づくりの研修をされてもいいのではないかと、校長、教頭の温かい雰囲気づくりの役割は大きいと思う。

(西岡教育長)

宍粟市では、職員室に校長、教頭の机があり、教職員一緒に給食を食べるようにしている。雰囲気づくりの重要性を再認識し大事にしていきたい。

## 9 次回会議の招集について

平成29年10月19日(木)午前9時30分から開催すると決定した。

## 10 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午前10時27分終了